

# 学校図書館

## 支援員だより

### 中学校の部 Vol.33



発行元： 水戸市立中央図書館  
水戸市大町3丁目3番20号  
学校図書館支援担当  
発行日： 令和5年10月10日

#### 「読書週間」 いま、推したい1冊！

秋といえば「読書」、そして今年も読書週間がやってきます。

学校図書館支援員がぜひ読んでもらいたい！ “推し本”を熱く紹介します。

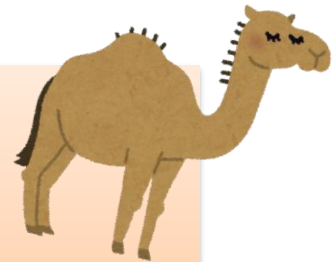
私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間  
10/27～11/9



#### 人生は、予測不可能だ！

『ヒトコブラクダ層ぜっと（上・下）』 方城自学 著 幻冬舎



梵天・梵地・梵土の三つ子の兄弟には特殊能力がある。

彼等はその能力を使って、宝石店で泥棒を成功させ、大金を手にする。

が、三人の前に謎の女が現れ、そこから彼等の運命は、激流に飲み込まれていく。

何が楽しいって、三つ子の掛け合いと関係性、そして、これでもかというトンデモ展開。

これが面白くないわけがない。読むと元気になる作品です。(N.S)

#### 毎日の国際ニュースの“そもそも、なんで？”にこの1冊！！

『13歳からの地政学—カイゾクとの地球儀航海』 田中孝幸 著 東洋経済新報社



「地政学」とは、地理的条件に注目して国際政治を考える学問。

何だかムズカシそう？ でもご安心。銀髪オールバック、左眼には、黒い眼帯。

190cmの大男、“カイゾクさん”が、やさしく講義をしてくれます。

読み終えるころには、きっと世界が広がっているはず。

カイゾクさんからの最後の問題、あなたなら何て答える？(K.K)

#### 生きている限り、また挑戦できる。

『桜風堂ものがたり』 村山早紀 著 PHP 研究所

銀河堂書店で働く月原一整は、本と書店を愛してやまない青年。だが、ある事件がきっかけで銀河堂書店を退職することに。そんな彼には自分の手で売りたい新刊本と、またどうしても書店で働きたいという強い思いがあった。

1冊の本をめぐる、書店に携わる人々の情熱の物語。

読後暖かな気持ちになること間違いなし！（Y.K）

